

安全への取り組み

当社では、徹底して安全作業を行えるように 毎月安全会議を実施しております

参考資料を基に、月々に応じての注意事項や災害事例を挙げて原因を探り、その傾向と対策を話し合います。

この会議を通じて、職長ならびに作業に関わる者皆に 気持ちの緩みや馴れを引き締め、毎日徹底させるKY活動やミーティングの大切さを再度確認し、安全に作業を進めれるように教育しています。

※ 下記は安全会議資料より

令和5年度 安全衛生管理基本方針

スローガン

気を抜くな 過信と油断は 事故の元
初心にかえって 0災害

社訓

一、誠実

人として最も大切なのは誠実であり誠実は信頼を得る基であり信頼が発展の第一条件である。

二、協調

経営は全員の終結であり人の和こそ企業の推進力である。互いに信じ合い譲り合いの明るい職場を築く。

三、奉仕

奉仕の精神を社業に生かし会社の繁栄を図り従業員の生活の安定と向上を図りより良い会社の建設に貢献する。

目標

- ① クレーム ゼロ
- ② 三大災害（墜落・転落・飛来落下）の撲滅
- ③ 3S（整理・整頓・清掃）の徹底

運動

全員による危険予知活動（KYK）の充実
（危険を予知して危ない作業はしない・させない）

安全会議の様子

講師を迎え、それぞれの立場からの意見・質問交換などをします。
社長、部長とともに安全作業の見直しを図ります。
皆で安全に作業できる環境作りを目指しています。

安全衛生対策実施記録		6月度	作成 吉田	承認 原
安全衛生対策会議				
実施年月日	令和 7 年 6 月 23 日			
実施場所	社内会議室	(PM 17時20分～PM18時00分)		
参加人数		27名		
会 議 内 容				

■熱中症対策について

- ・令和7年6月から熱中症の重篤化を防止するため「体制フロー」「手順作成」「関係者への周知」が事業者には義務化。
- ・作業員は熱中症の疑いがある人を発見または自己申告し、体制フローや手順作成に従って対処を行い関係者への報告を徹底する。
- ・熱中症対策についてのビデオを視聴し、個々で出来る対策を積極的に行う。
(塩分補給や水分補給・空調服の装着など)

■その他

- ・暴飲暴食を避け、十分な睡眠をとる
- ・細めに水分補給をし体調に異変を感じたら直ぐに作業を中断し作業長に報告する

「気を抜くな 過信と油断は 事故の元 初心にかえって 0災害」
このスローガンをもとに安全への意識をさらに高め、無事故・無災害を目指します。

